平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月6日

上場会社名	株式会社ジェイグループホールディングス	上場取引所	東
コード番号	3063 URL http://www.jgroup.jp/		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 新田 二郎	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理本部長	(氏名) 赤工 朝飛	TEL 052-243-0026
四半期報告書提出予定日	平成29年10月13日	配当支払開始予定日	平成29年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 ： 有

四半期決算説明会開催の有無 ： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	7,248	4.4	3	―	16	―	△56	―
29年2月期第2四半期	6,941	△0.4	△11	―	△37	―	△86	―

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 △49百万円 (―%) 29年2月期第2四半期 △64百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△7.01	―
29年2月期第2四半期	△10.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	8,793	1,758	20.0
29年2月期	8,642	1,666	19.2

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,756百万円 29年2月期 1,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	―	1.50	―	1.50	3.00
30年2月期	―	1.50			
30年2月期(予想)			―	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 平成30年 2月期の連結業績予想(平成29年 3月 1日～平成30年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	4.5	150	178.1	130	111.7	50	―	6.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	8,496,400 株	29年2月期	8,196,400 株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	200,035 株	29年2月期	200,035 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	8,097,452 株	29年2月期2Q	7,996,365 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年10月18日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月6日

上場会社名　株式会社ジェイグループホールディングス　上場取引所　東
コード番号　3063　URL http://www.jgroup.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 新田 二郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 赤工 朝飛　TEL 052-243-0026
四半期報告書提出予定日　平成29年10月13日　配当支払開始予定日　平成29年11月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	7,248	4.4	3	―	16	―	△56	―
29年2月期第2四半期	6,941	△0.4	△11	―	△37	―	△86	―

(注)包括利益　30年2月期第2四半期　△49百万円 (―%)　29年2月期第2四半期　△64百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△7.01	―
29年2月期第2四半期	△10.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	8,793	1,758	20.0
29年2月期	8,642	1,666	19.2

(参考)自己資本　30年2月期第2四半期 1,756百万円　29年2月期 1,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	―	1.50	―	1.50	3.00
30年2月期	―	1.50			
30年2月期(予想)			―	1.50	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 2月期の連結業績予想(平成29年 3月 1日～平成30年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	4.5	150	178.1	130	111.7	50	―	6.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	8,496,400 株	29年2月期	8,196,400 株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	200,035 株	29年2月期	200,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	8,097,452 株	29年2月期2Q	7,996,365 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年10月18日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
(継続企業の前提に関する注記) …… 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 10
(セグメント情報等) …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の改善、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済の不確実性の高まりもあり先行きに依然不透明感を残す状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、平成29年９月からスタートするエリア経営体制に向けた組織の再構築と適正な人員配置による効率化、従業員のスキル向上を目指した教育制度の充実など、業務の改善と従業員教育を進めました。また、５店舗を新規出店し、１店舗をリニューアルするとともに、６店舗を閉店いたしました。これらにより、平成29年８月末日時点での業態数及び店舗数は、73業態143店舗(国内141店舗、海外２店舗)となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は7,248百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は３百万円(前年同期は営業損失11百万円)、経常利益は16百万円(前年同期は経常損失37百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は56百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失86百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

原材料価格の上昇傾向が顕著となっており、仕入や物流を共同化することでスケールメリットを活かしたコスト削減に取り組みました。主な新規出店といたしましては、平成29年３月に「きばくもん」（名古屋市中区）、４月に「名古屋丸八食堂（なごやまるはちしょくどう）豊田店」（愛知県豊田市）、６月に「おざぶ」（京都市中京区）及び「SARUBARUSA（さるばるさ）」（愛知県豊橋市）、８月に「光蔵（みつくら）」（名古屋市中区）を新規オープンし、３月に「きじょうもん」（名古屋市中村区）をリニューアルオープンいたしました。また、「猿Cafe（さるかふぇ）TV塔店 」(名古屋市中区)、「SARU CAFE ラシック店」（名古屋市中区）、「猿Cafe豊橋店」（愛知県豊橋市）、「Mart（まーと）」及び「８８（ゆいっとゆいっと）ららぽーとTOKYO BAY」（千葉県船橋市）、「大地の恵み（だいちのめぐみ）」（大阪府守口市）を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,621百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は303百万円(同23.6%増)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ｊG金山」が収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は1,014百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は83百万円(同16.4%減)となりました。

③ ブライダル事業

「LUCENT Mariage Tower(ルーセントマリアージュタワー)」について、婚礼数が若干減少いたしましたが、景観・立地の優位性を活かして企業のパーティ需要の取り込みを図りました。その結果、ブライダル事業における売上高は351百万円(前年同期比4.5%減)、営業損失は４百万円(前年同期は営業利益２百万円)となりました。

④ その他の事業

販促製作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は445百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は17百万円(同23.6%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は8,793百万円(前連結会計年度末比151百万円増加)となり、負債は7,035百万円(同59百万円増加)、純資産は1,758百万円(同92百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ256百万円減少し1,243百万円となりました。これは、現金及び預金が308百万円減少し、売掛金が53百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ405百万円増加し7,546百万円となりました。これは、社員寮の取得及び新規出店等により、有形固定資産が368百万円、差入保証金が37百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が増加し３百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し2,996百万円となりました。これは、買掛金が88百万円減少し、短期借入金が25百万円、１年内返済予定の長期借入金が52百万円、未払金が31百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し4,038百万円となりました。これは、社債が57百万円増加し、長期借入金が32百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ92百万円増加し1,758百万円となりました。これは主に、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ78百万円増加し、四半期純損失の計上により利益剰余金が68百万円減少したことなどが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが209百万円の資金増(前年同期比41.8％減)、投資活動によるキャッシュ・フローが837百万円(同99.4％増)の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが319百万円(同439.5％増)の資金増となりました。

その結果、当第２四半期連結会計期間末の資金残高は440百万円となり、前連結会計年度末の749百万円に比べ308百万円減少しております。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は209百万円(前年同期比41.8％減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を66百万円、非資金項目である減価償却費を357百万円、店舗閉鎖損失を73百万円、それぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は837百万円(前年同期比99.4％増)となりました。これは主に、社員寮の取得や新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が769百万円、差入保証金の差入による支出が73百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は319百万円(前年同期比439.5％増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入が707百万円、株式の発行による収入が154百万円あり、長期借入金の返済による支出が590百万円あったことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年２月期の連結業績予想につきましては、平成29年４月７日に公表いたしました業績予想から現時点におきましては、変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

（株主優待引当金）

株主優待費用は、従来、株主優待券利用時に営業費用として処理をしておりましたが、株主優待券の利用実績等の把握が可能となったため、第１四半期連結会計期間末より、利用実績等に基づき翌四半期連結会計期間以降に発生すると見込まれる額を株主優待引当金として計上することといたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ5,300千円減少しております。

３．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年２月28日)	当第２四半期連結会計期間 (平成29年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,519	440,580
売掛金	322,467	376,001
商品及び製品	2,225	905
原材料及び貯蔵品	116,598	119,530
その他	312,674	306,958
貸倒引当金	△3,097	－
流動資産合計	1,500,387	1,243,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,379,871	3,267,583
土地	1,623,107	1,761,251
その他（純額）	591,280	934,381
有形固定資産合計	5,594,259	5,963,215
無形固定資産	27,102	22,576
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,267,858	1,305,502
その他	261,134	268,062
貸倒引当金	△17,921	△21,019
投資その他の資産合計	1,519,291	1,560,765
固定資産合計	7,140,654	7,546,557
繰延資産		
社債発行費	1,234	3,202
繰延資産合計	1,234	3,202
資産合計	8,642,276	8,793,736

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年２月28日）	当第２四半期連結会計期間 （平成29年８月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	498,441	410,111
短期借入金	3,800	29,000
1年内返済予定の長期借入金	1,131,940	1,184,830
1年内償還予定の社債	46,000	66,000
未払金	739,581	771,131
未払法人税等	65,797	10,386
株主優待引当金	－	5,300
その他	474,805	520,183
流動負債合計	2,960,366	2,996,942
固定負債		
社債	46,000	103,000
長期借入金	3,386,843	3,354,020
資産除去債務	98,375	90,218
その他	484,551	491,265
固定負債合計	4,015,770	4,038,504
負債合計	6,976,136	7,035,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,146,969
資本剰余金	998,969	1,076,969
利益剰余金	△286,797	△355,568
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	1,705,119	1,792,347
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△42,417	△35,697
その他の包括利益累計額合計	△42,417	△35,697
新株予約権	3,438	1,638
純資産合計	1,666,139	1,758,288
負債純資産合計	8,642,276	8,793,736

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成28年３月１日 至 平成28年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成29年３月１日 至 平成29年８月31日）
売上高	6,941,478	7,248,140
売上原価	2,159,704	2,259,604
売上総利益	4,781,773	4,988,535
販売費及び一般管理費	4,793,004	4,985,429
営業利益又は営業損失（△）	△11,231	3,106
営業外収益		
受取利息	216	255
協賛金収入	45,841	60,019
設備賃貸料	4,989	9,719
その他	5,918	4,184
営業外収益合計	56,965	74,178
営業外費用		
支払利息	35,326	37,823
為替差損	31,741	8,081
賃貸費用	11,440	11,069
その他	5,082	3,495
営業外費用合計	83,590	60,470
経常利益又は経常損失（△）	△37,855	16,814
特別利益		
固定資産売却益	4,187	－
特別利益合計	4,187	－
特別損失		
減損損失	20,033	10,377
店舗閉鎖損失	47,169	73,377
特別損失合計	67,202	83,755
税金等調整前四半期純損失（△）	△100,871	△66,940
法人税等	△9,095	△10,378
四半期純損失（△）	△91,776	△56,562
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△5,719	214
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△86,056	△56,776

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年３月１日 至　平成28年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年３月１日 至　平成29年８月31日）
四半期純損失（△）	△91,776	△56,562
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	26,978	6,720
その他の包括利益合計	26,978	6,720
四半期包括利益	△64,797	△49,841
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,329	△49,841
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,467	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成28年３月１日 至　平成28年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成29年３月１日 至　平成29年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△100,871	△66,940
減価償却費	379,798	357,350
のれん償却額	4,384	4,389
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,969	－
株主優待引当金の増減額（△は減少）	－	5,300
受取利息及び受取配当金	△217	△255
支払利息	35,326	37,823
有形固定資産売却損益（△は益）	△4,187	－
減損損失	20,033	10,377
店舗閉鎖損失	47,169	73,377
売上債権の増減額（△は増加）	△50,982	△53,541
たな卸資産の増減額（△は増加）	△11,802	△2,238
仕入債務の増減額（△は減少）	△28,194	△88,329
その他	149,311	18,963
小計	444,737	296,277
利息及び配当金の受取額	216	255
利息の支払額	△34,676	△36,008
法人税等の支払額	△50,922	△51,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,355	209,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△422,566	△769,597
有形固定資産の売却による収入	4,522	－
無形固定資産の取得による支出	△425	△2,039
差入保証金の差入による支出	△16,653	△73,597
差入保証金の回収による収入	26,083	34,449
貸付けによる支出	△1,940	△3,307
その他	△8,707	△22,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△419,687	△837,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	11,600	25,200
長期借入れによる収入	1,013,636	707,011
長期借入金の返済による支出	△897,146	△590,952
リース債務の返済による支出	△36,170	△38,795
社債の発行による収入	－	100,000
社債の償還による支出	△23,000	△23,000
社債の発行による支出	－	△2,599
株式の発行による収入	－	154,200
非支配株主からの払込みによる収入	2,218	－
配当金の支払額	△11,994	△11,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,143	319,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,911	△316
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,100	△308,939
現金及び現金同等物の期首残高	289,872	749,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	286,771	440,580

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第２四半期連結累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金が78,000千円、資本準備金が78,000千円増加し、当第２四半期連結会計期間末において資本金が1,146,969千円、資本剰余金が1,076,969千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成28年３月１日　至　平成28年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)１	合計	調整額 (注)２	四半期連結損益計算書計上額 (注)３
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,208,594	121,080	368,427	6,698,103	243,374	6,941,478	―	6,941,478
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	41,989	822,701	―	864,690	221,692	1,086,383	△1,086,383	―
計	6,250,584	943,782	368,427	7,562,794	465,067	8,027,861	△1,086,383	6,941,478
セグメント利益又は損失(△)	245,850	100,050	2,215	348,117	22,755	370,872	△382,104	△11,231

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△382,104千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食」セグメントにおいて、株式会社ジェイプロジェクトの不採算店舗に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては、20,033千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成29年３月１日　至　平成29年８月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,582,353	114,815	351,662	7,048,831	199,308	7,248,140	―	7,248,140
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	39,158	899,761	316	939,235	246,125	1,185,361	△1,185,361	―
計	6,621,511	1,014,576	351,978	7,988,067	445,434	8,433,501	△1,185,361	7,248,140
セグメント利益	303,899	83,621	△4,391	383,129	17,396	400,526	△397,419	3,106

(注)１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△397,419千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、株式会社ジェイプロジェクトの不採算店舗に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては、10,377千円であります。